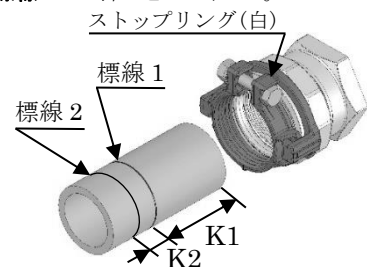


SKX® 施工手順 (ステンレス鋼管(Su)用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線**を2本記入して下さい。

分解せずにストップリングとキャップが接した状態で**標線1**まで挿し込んで下さい。



注1)・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。

- ・滑剤の塗布は不要です。
- ・管止めがある場合は、管止めから3mm以上あけて施工して下さい。

②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め(素手もしくはスベリ止め付グローブで締まらなくなるまで)した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

注2)・十分な手締め(素手)は8N・m程度です。

- ・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。
- ・手袋使用の場合は、スベリ止め付グローブを使用して下さい

③キャップ本締め

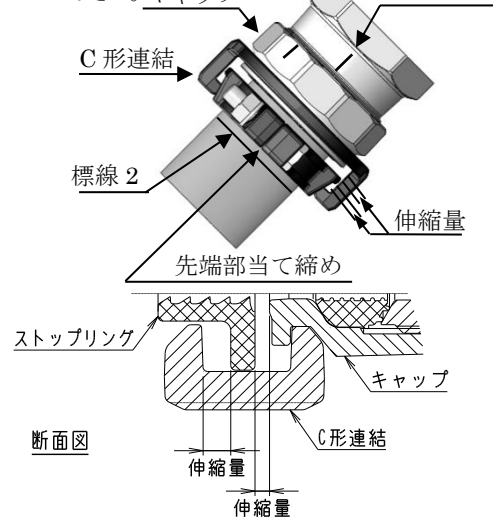
ショートレンチにて**キャップ**を標準締付回転数(標準締付トルク)で締め付けて下さい。



④ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら**、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。

ストップリングが2本の**標線**の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締めして下さい。キャップ



注3) 当て締め後さらに締め付けすぎると破損などの**不具合**が生じることがあります。

注4) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注5) 再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入

ストップリング端面が2本の**標線**の間にあることを確認してください。

キャップとストップリングの**締め忘れ**のないように確認を行って下さい。

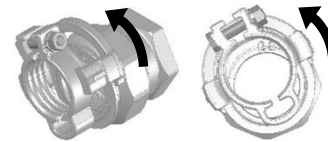
《管の取り外し》

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩める**だけで管と分離可能です。(分解不要)

SKXストップリング (SR) 交換手順

①C形連結取り外し

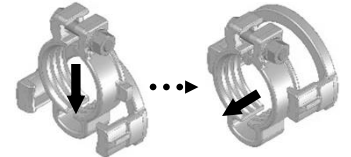
C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



③ストップリング交換

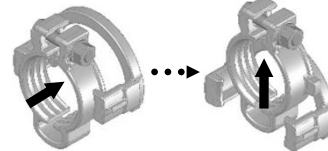
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



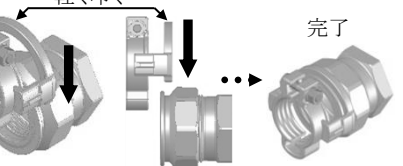
②ストップリング取り外し

SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。



管 呼び径	SR 呼び径 (白)	本体 呼び径	K (mm)		キャップ		ストップリング	六角 対辺		
			K1	K2	十分な手締め 後回転数	参考締付トルク N・m	(参考締付トルク N・m)			
13	Su13	V13	50	+5 -0	5	1/4~3/4	(20)	当て締め	(4)	10
20	Su20	16							(8)	
25	Su25	Su25	55	+10 -0	5				(10)	
30	Su30	25							(15)	13
40	Su40	32	60		5	4/10~6/10	(40)			
50	Su50	40	65		5				(20)	

注) パイプエンドの場合、K 寸 (K1) は全呼び径+5/-0です。 ※太字：下限値

(株)川西水道機器

TEL 087-805-0001 (施工コールセンター)
FAX 087-877-2801

2025.11.19